

第32回

けんぶち絵本の里大賞受賞作品決定

～絵本の里大賞～



《作品名》

あきらがあけてあげるから

《作者》

(作・絵) ヨシタケ シンスケ

《出版社》

PHP 研究所

今年度、大賞を受賞したのは(作・絵)ヨシタケシンスケさんの「あきらがあけてあげるから」です。

子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる、誰もが一度は経験したことのあるような、ユーモアな作品ですので、ぜひ一度絵本の館で読んでみませんか。

【あらすじ】

くやしい。ボクはくやしい。ボクはチョコがたべたいんだけど、このふくろ、あけにくいんだよ。

ボクはまだちっちゃくてちからもよわいから、このふくろはあけられないんだ・・・。

でも、もうすこしおおきくなったら、ぼくはきっとなんでもあけられるようになるとおもんだ。じぶんのぶんもみんなのぶんも、ぜーんぶあけてあげたい。あきらがあけてあげるから！

10月3日(月)、来館者が好きな絵本を選ぶ「けんぶち絵本の里大賞」の開票作業が、絵本の館で行われました。

昨年の絵本の里大賞は、新型コロナウイルスにより開催期間中に一時閉館などがありました。今年度は全期間開館することができました。

投票期間中は、道内外から数多くの来館があり、投票者数・投票数ともに新型コロナウイルス感染拡大前に戻りつつあります。

今回の応募点数は277作品で、その中から第32回けんぶち絵本の里大賞に、(作・絵)ヨシタケシンスケさん『あきらがあけてあげるから』が決定しました。

びばからす賞には、(作)柴田ケイコさん『パンどろぼうとなぞのフランスパン』、(作)チヨヒカルさん『やっぱり じゃない!』が選ばれました。

また、アルパカ賞には、(作)鈴木のりたけさん『大ピンチずかん』が選ばれました。

受賞が決定した作家の方たちは、来年2月18日(土)開催の絵本の里大賞授賞式や、歓迎レセプションにご出席される予定です。

※新型コロナウイルス感染症の状況により変更になる場合があります。

～びばからす賞～

《作品名》

パンドロぼうと
なぞのフランスパン

《作者》

(作) 柴田ケイコ

《出版社》

KADOKAWA



《作品名》

やっぱり じゃない!

《作者》

(作) チョーヒカル

《出版社》

フレーベル館



～アルパカ賞～

《作品名》

大ピンチずかん

《作者》

(作) 鈴木のりたけ

《出版社》

小学館



総投票者数・・・2,162人(昨年1,184人)

総投票数・・・9,735票(昨年5,414票)

期間中来館者数・・・5,429人(昨年2,841人)

投票期間・・・8月1日～9月30日

※びばからす賞・・・準大賞

※アルパカ賞・・・受賞履歴の無い作者で最も投票数の多い作品